

SHOKEI-GAKUSO

JOURNAL OF BUSINESS STUDIES

Vol. 63 No. 3

March 2017

In Commemoration of
Professor Toshinori Konoike

Published
by

THE SOCIETY OF BUSINESS STUDIES

KINDAI UNIVERSITY

Higashi-Osaka. OSAKA. JAPAN

商
經
学
叢

第
六
十
三
卷
第
三
号

鴻
池
俊
憲
先
生
退
任
記
念
号

二
〇
一
七
年
三
月

近
畿
大
学
商
經
学
会

商 經 学 叢

第63卷 第3号

鴻池俊憲先生 退任記念号

2017年3月

近畿大学商經学会

執筆 者 紹 介 (掲載順)

光 山 秀 行……近畿大学短期大学部助教	中 野 浩 幸……近畿大学経営学部教授
勝 田 英 紀……近畿大学経営学部教授	牧 浦 健 二……近畿大学名誉教授
川 原 尚 子……近畿大学経営学部教授	鞆 大 輔……近畿大学経営学部准教授
後 藤 孝 夫……近畿大学経営学部教授	中 岡 孝 剛……近畿大学経営学部准教授
高 橋 愛 典……近畿大学経営学部教授	上小城 伸 幸……近畿大学経営学部准教授
野 木 秀 康……京丹後市役所企画総務部 企画政策課公共交通係係長	花 木 正 孝……近畿大学経営学部准教授
酒 井 裕 規……神戸大学大学院海事科学研究科准教授	布 施 匡 章……近畿大学経営学部准教授

商経学叢 第63巻第3号 (通巻第179号)

2017年3月31日印刷

2017年3月31日発行

編 集 近畿大学商経学会

発行人 山口忠昭

発行所 東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学経営学部

郵便番号 577-8502 電話番号 (06)4307-3046

印刷所 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷)



商 經 学 叢

第63卷 第3号

鴻池俊憲先生 退任記念号

2017年3月

近畿大学商経学会



鴻池俊憲先生御近影

献 辞.....山 口 忠 昭

論 文

バレーボールにおける攻撃および防御の戦術指導に関する事例報告 ——平成27年度関西1部リーグ戦のJVISデータによる分析——	光 山 秀 行 1
我が国における米の輸出入について.....	勝 田 英 紀 17
インドネシア上場鉱業企業の持続可能性報告の現状と課題.....	川 原 尚 子 43
高速道路のストック効果と交通近接性 ——近畿圏を対象とした試算——.....	後 藤 孝 夫 67
京丹後市の道路公共交通政策 ——上限200円バスからシェアリング・エコノミーへ？——	高 橋 愛 典・野 木 秀 康・酒 井 裕 規 77
みなし贈与課税と実現要件.....	中 野 浩 幸 101
コジオールによるニックリッシュの現代的意義についての一考察	牧 浦 健 二 117
大学初年次教育を想定したブロックトイを用いたキャリア 教育手法に関する研究.....	輛 大 輔 163
多角化戦略の動機とその経済的帰結に関する既存研究の検討	中 岡 孝 剛・上 小 城 伸 幸 177
貿易取引の技術的発展に伴う信用状統一規則規定の変遷.....	花 木 正 孝 205
企業におけるデータ利活用と組織体制に関する分析 ——企業アンケートデータを用いて——.....	布 施 匡 章 235

大学初年次教育を想定したブロックトイを用いたキャリア 教育手法に関する研究……………	鞆	大 輔	3	163	505
多角化戦略の動機とその経済的帰結に関する既存研究の検討 ……………	中 岡 孝 剛・上小城 伸 幸		3	177	519
貿易取引の技術的発展に伴う信用状統一規則規定の変遷 ……………	花 木 正 孝		3	205	547
企業におけるデータ利活用と組織体制に関する分析 ——企業アンケートデータを用いて—— ……………	布 施 匡 章		3	235	577

商経学叢 第63巻

発行年月

第1号（通巻第177号）……………2016年7月

第2号（通巻第178号）……………2016年12月

第3号（通巻第179号）……………2017年3月

鴻池俊憲教授 略歴と業績

出生

1951年1月 福岡市生まれ

学歴

1969年4月 神戸大学経済学部入学
1973年3月 神戸大学経済学部卒業
1974年4月 神戸大学大学院経済学研究科修士課程入学
1976年3月 神戸大学大学院経済学研究科修士課程修了
1976年4月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程入学
1979年3月 神戸大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

職歴

1979年4月 近畿大学教養部講師
1983年4月 同 教養部助教授
1986年9月～1987年3月 客員教員 (visiting scholar) Rutgers University (アメリカ, ニュージャージー州立ラトガース大学) Faculty of economics
1996年4月 近畿大学教養部教授
2001年4月 同 商経学部経済学科教授
2003年4月 同 経営学部商学科教授
2017年3月 同 定年退職

学内役職

2007年4月～2008年9月, 2014年10月～2015年9月 経営学部商学科国際ビジネスコース主任
2007年4月～2009年9月 スポーツ特修課程主任
2007年4月～2012年9月 スポーツマネジメントコース主任
2007年4月～2017年3月 近畿大学バレーボール部部长
2012年10月～2014年9月 大学院委員会委員
2013年4月～2014年9月 学生部長補佐
2014年10月～2016年9月 経営学部商学科長

社会的活動

2000年5月～2002年8月 ラジオ番組レギュラー出演
日本短波放送 (略称 ラジオたんぱ) 大阪支社 番組「北浜発 情報最前線」(ラジオたんぱ第2放送18時30分～19時) 内コーナー「今月の焦点」担当 (毎月1回)
2006年9月～2013年8月 東大阪市生涯学習市民推進会議委員
2014年4月～2015年9月 東大阪市指定管理予定候補者選定委員会特定委員

著訳書

1. 『現代経済分析の基礎』1980年, 啓文社 単著
2. 『企業行動の多面的分析』1983年, 晃洋書房 共著
3. A. アイクナー編『なぜ経済学は科学ではないのか』1986年, 日本経済評論社 共訳
4. 『経済学の方法論と基礎概念』1990年, 日本経済評論社 共著
5. 『現代経済体制と経済政策—新野幸次郎先生退官記念論文集—』1991年, 晃洋書房 共著
6. S. C. ダウ『マクロ経済学の構図—方法論的アプローチ—』ポスト・ケインジアン叢書13, 1991年, 日本経済評論社 共訳
7. A. アシマコプロス『ケインズ「一般理論」と蓄積』ポスト・ケインジアン叢書22, 1993年, 日本経済評論社 単独訳
8. 『金融脆弱性と不安定性—バブルの金融ダイナミズム—』1995年, 日本経済評論社 共著
9. 『初歩からのマクロ経済学』2005年, 遊タイム出版 単著
10. 『改訂版 初歩からのマクロ経済学』2010年, 遊タイム出版 単著

近畿大学商経学会規約

第1条（会の名称）

本会の名称を「近畿大学商経学会」(The Society of Business Studies, Kindai University) とする。

第2条（事務局の設置場所）

本会の事務局は、これを近畿大学経営学部資料室に置く。

第3条（会の目的）

本会は、近畿大学における商学、経営学、会計学をはじめとする関連諸分野の研究・教育を促進し、その成果を広く公にすることを通じて、学界ならびに実社会に寄与・貢献することを目的とする。加えて、構成員の優れた業績を表彰することでその業績を世に知らしめることを目的とする。

第4条（会の事業）

前条の目的を達するために、本会は以下の事業を行う。

- (1) 機関誌『商経学叢』の刊行
- (2) ワーキングペーパーの管理
- (3) その他、研究・教育成果を公表する書籍等の刊行
- (4) 研究会、ワークショップ、学術講演会、セミナー等、研究・教育成果を公表する催事の実施
- (5) その他、前条の目的を達するための事業

第5条（会員資格）

本会の会員は、以下のとおりとする。

- (1) 近畿大学経営学部専任教員（助教、特任教員を含む）
- (2) 近畿大学経済学部専任教員（助教、特任教員を含む）
- (3) 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程修了者および満期退学者
- (4) 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程在学学生
- (5) 近畿大学経営学部、経済学部、および商経学部の名誉教授

なお、(5)については、その身分を終身会員とする。

第6条（会の組織）

- 1 本会は、以下の役員をもってこれを運営する。
 - (1) 会長
 - (2) 編集委員
- 2 会長には、近畿大学経営学部長が就任し、本会を代表するとともに、会務を統括する。
- 3 会長は、前条(1)に該当する者の若干名に対し、編集委員を委嘱する。
- 4 編集委員に委嘱された者は、経営学部広報・編集委員会編集部に属し、会の運営に当たる。
- 5 編集委員の任期については、各種学部委員の任期に準ずる。ただし、再任・留任を妨げない。

第7条（会の予算）

- 1 本会の予算期間は、4月1日から翌年3月31日までとする。
- 2 本会の活動経費は、経営学部の予算において配分された額をもって、これに充てる。

第8条（著作権について）

第4条に定められた事業を通じて公にされる著作物（音声、映像記録等を含む）の著作権については、その著作物が近畿大学商経学会によって採用もしくは実施された時点で、著作者ないしこれに準ずる者から近畿大学商経学会に譲渡されたものとみなす。

附 則

本規約は、平成23年2月16日より施行する。

近畿大学『商経学叢』に関する規程

第1条（本規程の目的）

本規程は、「近畿大学『商経学叢』に関する規程」（以下、「本規程」と略称する）と称し、近畿大学商経学会規約（以下、「規約」と略称する）第4条(1)に定められた事業を遂行するために必要な事項について定める。

第2条（『商経学叢』刊行の目的）

『商経学叢』は、規約第3条に定められた商経学会の目的を達すべく、会員の研究・教育成果を公表するために刊行される。

第3条（『商経学叢』の編集）

『商経学叢』の編集・刊行作業は、規約第6条第1項(2)に定められた編集委員が、これを担当する。ただし、必要な場合は、これ以外の者を参加させることができる。その際、参加できる者は規約第5条(1)に定める会員に限る。

第4条（『商経学叢』の種別）

『商経学叢』は、以下の種別を有する。

- (1) 通常号
- (2) 記念号
 - ① 退任記念号……………定年退職する教員を対象とする
 - ② 追悼号……………在職中に物故した教員を対象とする
 - ③ その他の記念号……………周年記念等、しかるべき時期に刊行する

なお、記念号の刊行については、別に定める。

第5条（投稿資格）

- 1 規約第5条に定める会員は、『商経学叢』に投稿する資格を有する。
- 2 ただし、会員のうち、規約第5条(3)もしくは(4)に該当する会員については、本規程第6条に定める掲載著作物のうち(1)のみを投稿できるものとし、かつ『『商経学叢』への大学院生投稿論文の査読手続に係る内規』にもとづき、投稿論文の掲載には審査を要する。

- 3 共著による投稿の場合は、共著者のうち少なくとも一名（ただし、第一著者）が会員であることを要する。ただし、近畿大学経営学部教授会の議を経て受け入れた客員教員および客員研究員ないしそれに准ずる者については、共著における第一著者としての投稿資格を有するものとする。この場合の掲載順序については、当該投稿者の本来の勤務先における職位に准じる。
- 4 必要に応じて、会員以外の者に執筆を依頼することができる。

第6条（掲載著作物の種別）

『商経学叢』には、以下の著作物を掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 資料
- (4) 書評

第7条（投稿に関する留意事項）

『商経学叢』に投稿する際には、以下の点を踏まえるものとする。

- (1) 投稿者は、所定の表紙に必要事項を記載し、提出原稿に添付しなければならない。
- (2) 原稿は、ワープロで作成された完成原稿とし、未刊行のものでなければならない。
- (3) 論文に関しては、原稿の本文冒頭に以下の事項を順に記載しなければならない。
 - ① 論題
 - ② 筆者氏名
 - ③ 日本語概要（300字以内）
 - ④ 欧文概要
 - ⑤ 5個以内のキーワード
 - ⑥ 原稿提出日
- (4) 本文中の節番号は1, 2, …と表記し、項番号は(1), (2), …と表記することを原則とする。
- (5) 図表は、図1, 表1と表記し、図表タイトルとともに書くこと。引用した場合

は、出所を図表の下に明記すること。

- (6) 注は脚注で表記し、本文中のしかるべき場所に通し番号を付すること。
- (7) 参考文献は、本文末に一括してリストを作成すること。その順序については、学界において広く採用されている方法を用いること。
- (8) 参考文献の表記方法については、以下の方式を原則とする。

著書【洋文献】…著者名 [刊行年] 書名〈イタリック〉, 出版社もしくは出版地名。

著書【和文献】…著者名 [刊行年] 『書名』 出版社名。

論文等【洋文献】…著者名 [刊行年] 論題, 所収誌名〈イタリック〉, 巻, 号, 掲載ページ。

論文等【和文献】…著者名 [刊行年] 「論題」『所収誌名』 巻, 号, 掲載ページ。

- (9) 執筆者校正は、二校までとする。

第8条（著作権）

- 1 『商経学叢』に掲載が受理された原稿の著作権は、近畿大学商経学会に帰属する。投稿者が当該原稿を他の出版物に転用する場合には、あらかじめ文書によって近畿大学商経学会の許可を得なければならない。
- 2 『商経学叢』に掲載された原稿については、冊子体以外の媒体で公開されることがある。投稿者は、これを承諾したうえで投稿するものとする。

論 文

- 国際影響評価学会の指針から示唆される
アジアの社会影響評価（SIA）の実施における課題
——インドネシアと中国の例で——……………川原尚子・入江賀子
- ザイシャープとザンディヒによるニックリッシュの
現代的意義についての一考察……………牧浦健二
- フォロワーシップ行動の3次元モデル……………松山一紀
- 観光地類型による地域経済活性化の批判的検討……………滝本優枝
- TSU-BPO取引の現状と今後～貿易金融電子化の可能性……………花木正孝
- IT部門からの新事業創出手法とその検討方法
——サービスデザイン手法とIT人材育成セミナーを通じて——
……………布施匡章・宗平順己
- 非正規従業員の働き方に関する意識構造……………山下京・向井有理子

《Articles》

- Research on the Tactics Instruction of the Offense and
the Defense in the Volleyball Game
—An Analysis by JVIS of the Kansai University Volleyball
Federation in the 2015 League—.....Hideyuki Mitsuyama
- Import and Export of Rice in Japan.....Hideki Katsuda
- Current State of the Art and Challenges for Sustainability Reporting
Practices of Indonesian Listed Mining Companies.....Naoko Kawahara
- A Study of Relationship between the Stock Effects in the Japanese
Expressway and Accessibility Measures.....Takao Goto
- Road Passenger Transport Policy in Kyotango City, Kyoto Prefecture
.....Yoshinori Takahashi, Hideyasu Nogi and Hiroki Sakai
- Gift tax and Realization.....Hiroyuki Nakano
- On the Study of the Review on Nicklisch Proposed by Kosiol, E.
.....Kenji Makiura
- Study on Career Education Method Using Block Toy Assuming University
First Annual Education.....Daisuke Tomo
- The Motivations for Corporate Diversification Strategy
and its Economic Consequences:
A Review of Literature.....Takayoshi Nakaoka and Nobuyuki Kamikojo
- Change in the UCP Regulation with Technical Development
of Merchandise Trade.....Masataka Hanaki
- Analysis on Data Utilization and Organizational System in Businesses
—Using Data from a Questionnaire Survey Covering Japanese Companies—
.....Masaaki Fuse

編集後記

鴻池俊憲先生は、2017年3月に近畿大学経営学部をご退職されました。

本論文集は鴻池先生のご功績をたたえ、感謝の念とともに企画されました。鴻池先生とご縁の深い先生方をはじめ、学内の諸先生方から11編の論文をご寄稿いただき発行の運びとなりました。ここに『商経学叢』鴻池俊憲先生退任記念号・編集委員会一同、深く御礼申し上げます。

鴻池先生は、いつも穏やかな笑顔で教職員や学生に接しておられる姿が印象的な先生でした。また、経営学部では商学科長やコース主任を歴任される中で、常に我々後輩教員のことを考えた運営をされ、また大変な仕事も進んで引き受けてくださりました。そのお姿を我々の今後の模範としたいと願うとともに、心から厚く御礼を申し上げます。

先生のこれからのご健康とご活躍、そして充実した日々を心よりお祈り申し上げます。

『商経学叢』鴻池俊憲先生退任記念号編集委員会

團 泰 雄 高 橋 愛 典
上小城 伸 幸 田 中 智 泰
玉 置 了 戸 田 統 久
山 縣 正 幸